

津軽地域ケアネットワーク交流会 2021 実施要領

1 目的

住民が疾病を持ちながらも、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けていくためには、本人による意思決定を基本とし、医療・ケアを進めることが最も重要である。
津軽地域に新中核病院が誕生する今、あらためて地域医療・地域包括ケアシステムについて触れ、参加者がそれぞれの立場で津軽地域の医療分野および介護分野の多職種連携の在り方について検討することを目的とする。

2 テーマ

第一部 講演

「持続可能なケアネットワーク構築のために次世代を担う人材をどう育てるか？」
弘前大学地域保健医療教育研究センター
(前弘前市地域包括支援センター運営協議会委員) 丹藤 雄介 先生

第二部 講演および対談

「弘前総合医療センター（仮称）の役割」～持続可能な地域医療の青写真を描く～
国立病院機構弘前病院 本部顧問（統合担当） 藤 哲 先生
座長： 石沢内科胃腸科 院長 石澤 誠 先生

3 開催方法

主催：津軽地域ケアネットワーク

共催：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）、一般社団法人弘前市医師会、
一般社団法人弘前歯科医師会、一般社団法人弘前薬剤師会、
公益社団法人青森県介護支援専門員協会津軽支部会、青森県看護協会中弘南黒支部、
国立病院機構弘前病院、弘前大学地域保健医療教育研究センター
弘前市第一地域包括支援センター

(順不同)

後援：一般社団法人南黒医師会、南黒歯科医師会、

青森県訪問看護ステーション連絡協議会中弘南黒支部、

たすけあいたい浪岡チームフクロウ、黒石けっばるケアマネジャーの会

板柳町、西目屋村地域包括支援センター、公立大学法人青森県立保健大学

(順不同)

4 日時

令和3年10月16日（土） 14：00～16：00（13：30～入室可）

※オンライン（zoom）開催

5 参集範囲

二次保健医療圏にある病院・診療所・歯科診療所及び薬局、市町村及び福祉事務所（保健、障害、介護、生活保護担当）、弘前地区消防事務組合、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム、老人保健施設、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、認知症グループホーム協会、有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅、社会福祉協議会・小規模多機能型居宅介護支援事業所等の職員

6 日程

時 間	内 容	
14:00	開会挨拶	津軽地域ケアネットワーク 会長 袴田 光樹
14:05～ (30分)	第一部	テーマ 「持続可能なケアネットワーク構築のために次世代を担う人材をどう育てるか？」 弘前大学地域保健医療教育研究センター (前弘前市地域包括支援センター運営協議会委員) 丹藤 雄介 先生
14:35～ (10分)	質問	
14:45～ (60分)	第二部	テーマ 「弘前総合医療センター（仮称）の役割」 ～持続可能な地域医療の青写真を描く～ 国立病院機構弘前病院 本部顧問（統合担当） 藤 哲 先生 座長：石沢内科胃腸科 院長 石澤 誠 先生
15:45～ (10分)	質疑	
15:55	閉会挨拶	津軽地域ケアネットワーク 副会長 大平 香織

7 参加費用：無料

8 申込方法および締め切り

申込方法：各自お持ちのパソコンまたはスマートフォン等、インターネット環境が必要になります。



<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZYkdO6rqDgiH9bopq1NZLfDK3itz64xVHJe>

上記、QRコードまたはURLにアクセスし、お申込み下さい。

ご入力いただいたメールアドレスへ当日のzoom招待メールが届きます。

申込締め切り：令和 3年 10月 1日（金）

9 問合せ先

津軽地域ケアネットワーク事務局 弘愛会病院 地域医療連携室 成田 綾

電話 0172-38-9090 E-mail renkei@kouaikai.com

※ ご参照下さい 「弘前地区在宅医療・介護連携支援センターそよかぜ」ホームページ
<http://www.hirosaki.aomori.med.or.jp/soyokaze/>

※ 本研修は、主任介護支援専門員更新研修受講のための受講要件（2）に該当します。
研修終了後、青森県介護支援専門員協会津軽支部会より修了証をお送りします。
全日程（一部・二部）に参加された方に限ります。